

2023年3月期 第3四半期  
**決算説明会**  
2023年2月10日  
**森永製菓株式会社**

**将来予測・業績予想について**

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し、計画、目標など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定を基礎としたものであり、将来における当社の実際の業績または展開と異なる場合があります。

# 本日のポイント

## ・ 第3四半期単、累計ともに増収減益

- 3Q累計で売上高は前年同期比106.6%、国内・海外ともに好調を維持。
- コスト高騰による売上原価への影響が一段と顕在化する一方、増収および価格改定効果により3Q累計の粗利額は同99.7%と前期同水準。営業利益は同79.6%と減益ながら、前回予想\*1を上回る進捗。

## ・ 価格改定後の動向は概ね目論見通り、打ち返し策は着実に進展

- 当上期に実施した各ブランドについては、市場でのポジションにより明暗はあるものの、数量への影響は想定内。
- コスト高騰に対する価格改定および増収効果によるカバー率は、1Q単(55%)から3Q単(77%)と、期の進行に伴い上昇。

## ・ 売上高は2期連続で過去最高更新\*2の見込み、通期業績予想の損益を上方修正

- 売上高は、重点領域のi n事業・米国事業が好調を継続し牽引。菓子食品事業は3Q以降増収転換。
- 損益は、価格改定効果が順調に実現していること等により、前回予想より上方修正（営業利益+5億円）。

## ・ 財務戦略に基づき、自己株式取得及び消却

- 2022年10月に100億円の自己株式取得が完了、同年11月に540万株\*3の消却を実施。
- 本日（2023年2月10日）新たに、自己株式の追加取得及び消却を決議\*4。

**2023年3月期  
第3四半期実績  
(2022年4月～12月)**

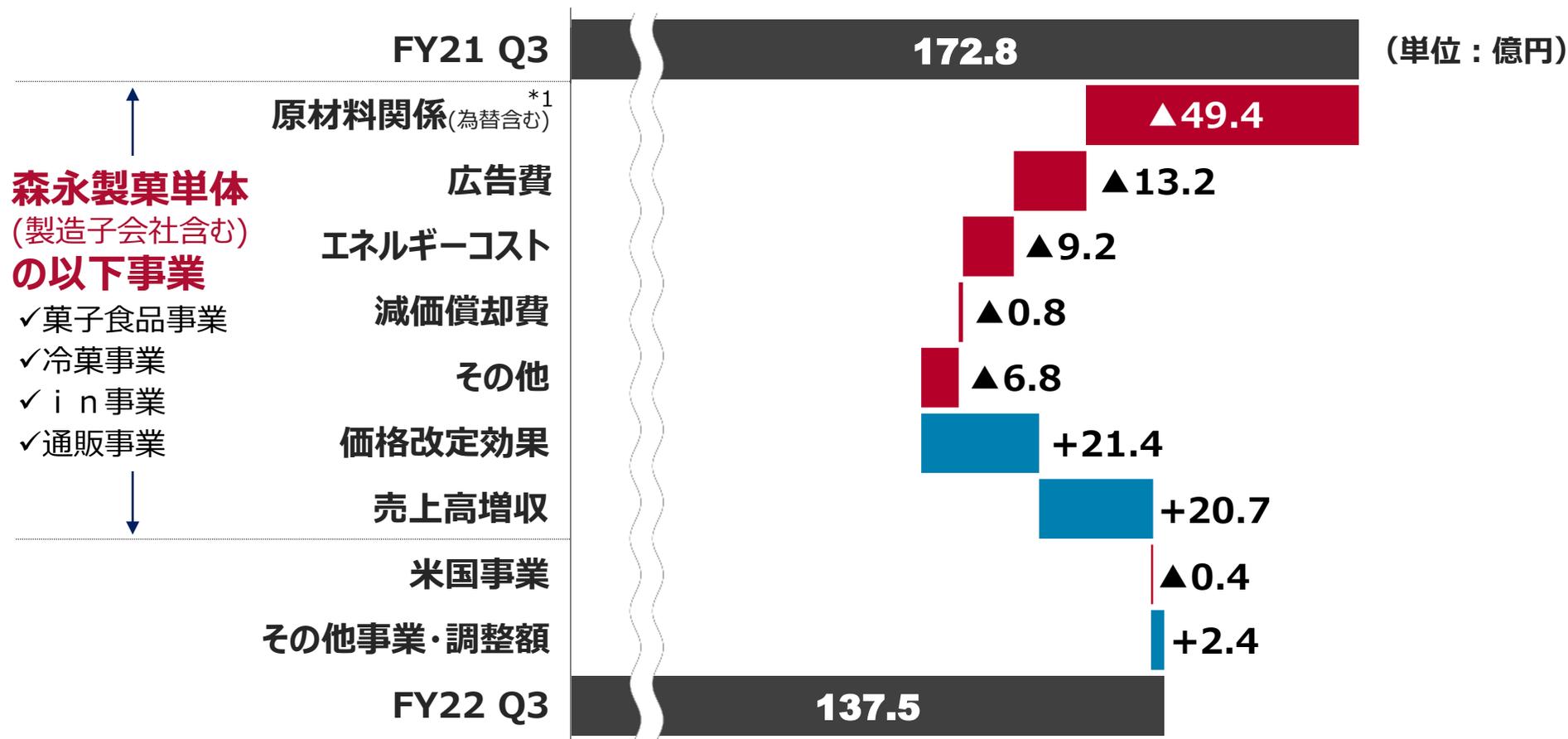
## 2023年3月期 第3四半期 実績

重点領域の成長継続に加え、3Qは菓子食品事業が増収転換。原材料等のコスト高騰が生じる中でも粗利額は前期同水準。戦略的な広告投資、売上拡大に伴う物流コスト増などにより営業利益は減。

(単位：億円)	実績	前期比較	
売上高	1,478	+92	106.6%
売上総利益 〔売上総利益率〕	594 〔40.2%〕	▲1 〔△2.8pt〕	99.7%
営業利益 〔営業利益率〕	137 〔9.3%〕	▲35 〔△3.2pt〕	79.6%
経常利益	139	▲39	78.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	88	▲37	70.8%
EBITDA <sup>*1</sup>	212	▲33	86.6%

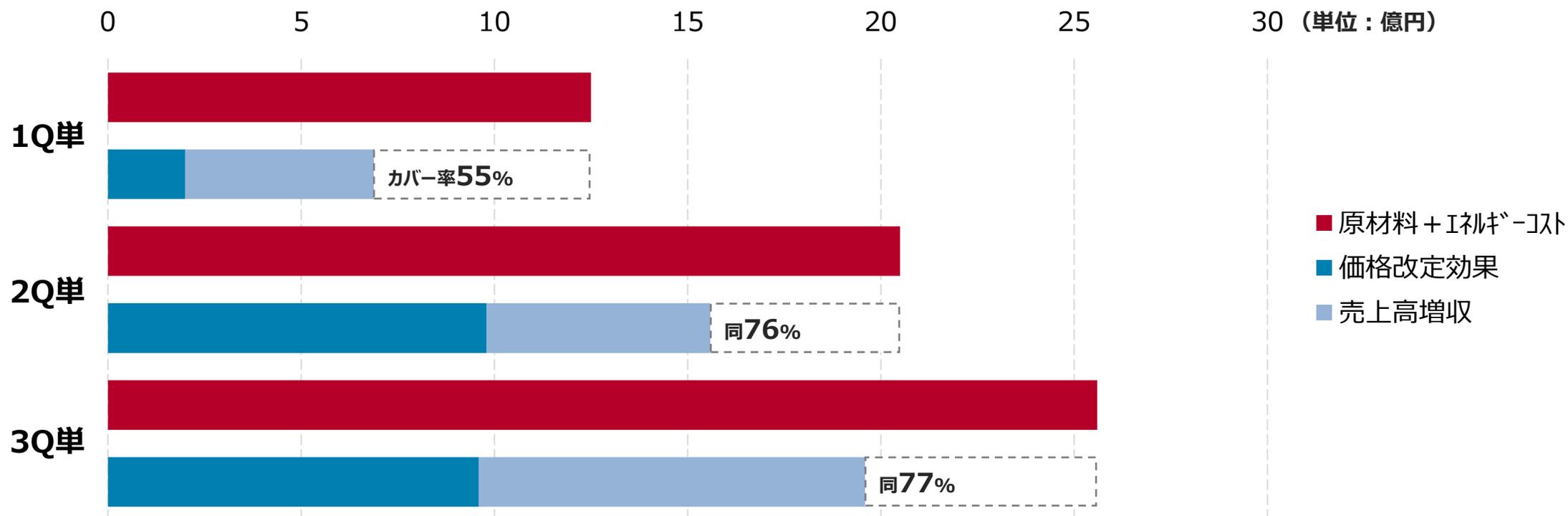
# 2023年3月期 第3四半期 実績：営業利益増減要因

原材料関係(為替含む)及びエネルギーコスト高騰の影響は3Qでさらに拡大しているが、売上高増収と価格改定による打ち返し策は着実に進展。



# コスト高騰に対する価格改定と増収効果によるカバー率の推移

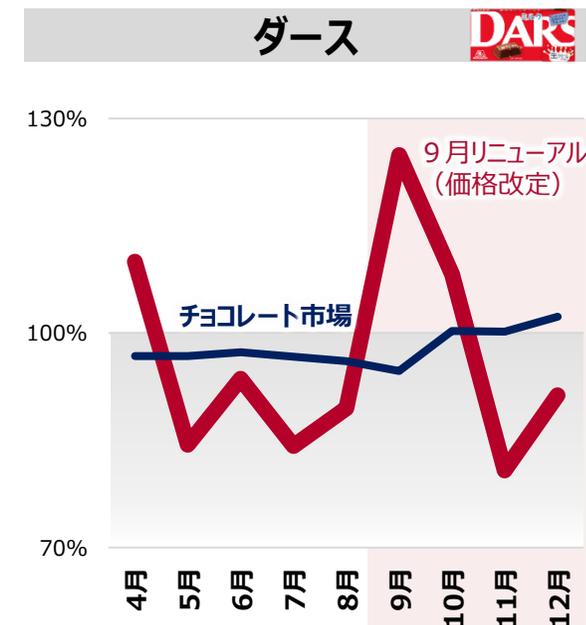
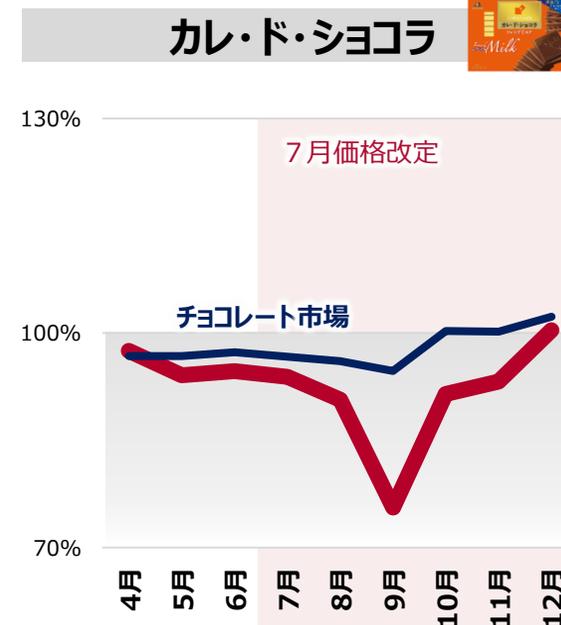
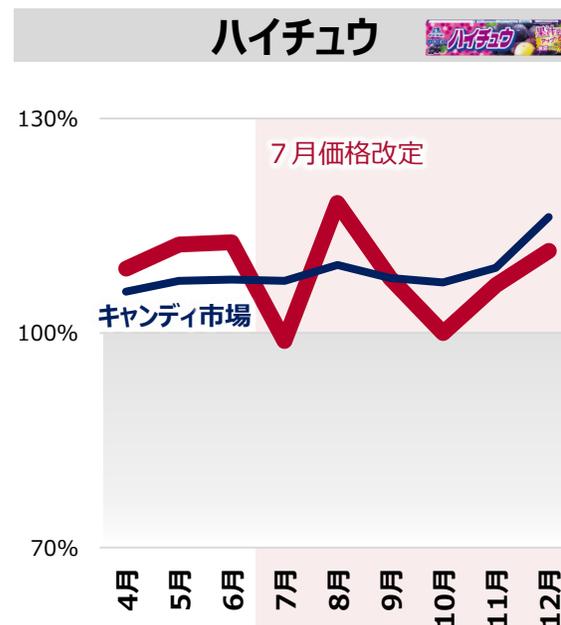
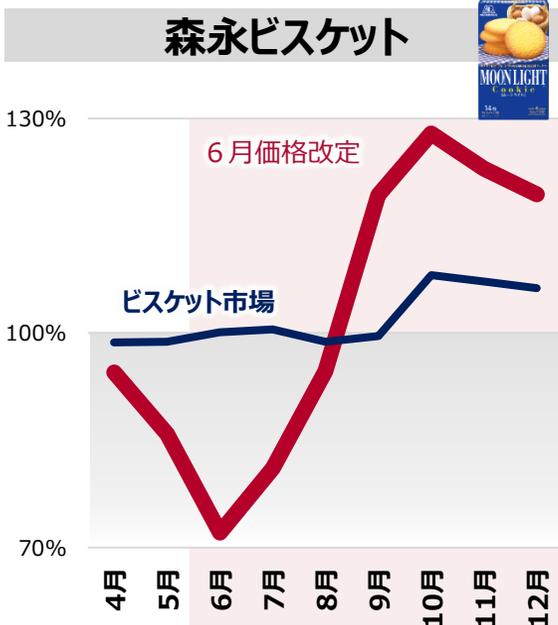
期の進行に伴いコスト高騰の影響は拡大しているが、打ち返し効果の伸長によりカバー率は上昇。



※森永製菓単体（製造子会社含む）の菓子食品事業・冷蔵事業・i n事業・通販事業の合計。影響（効果）金額は前年同期比にて算出。

# 2023年3月期 第3四半期：市場状況①【菓子】

販売金額 前年比

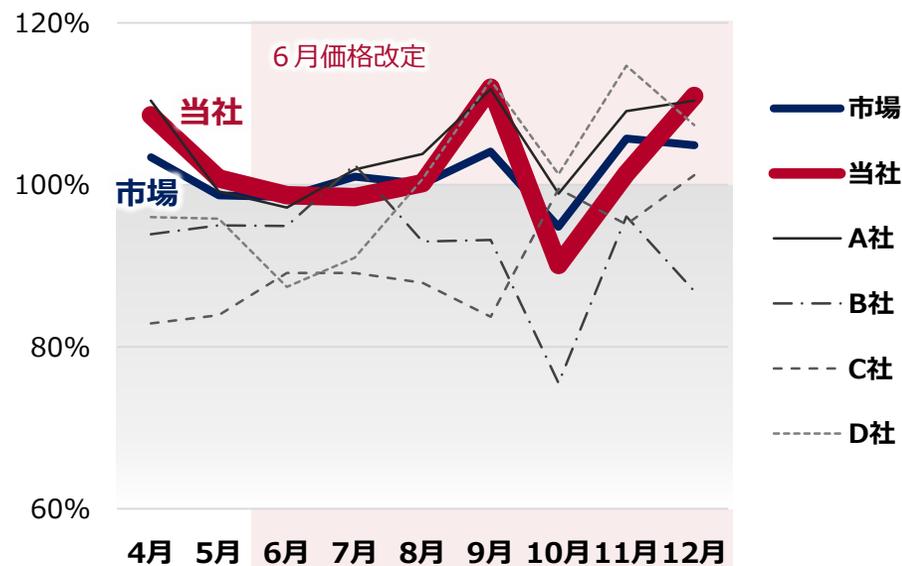


市場	状況
ビスケット市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで拡大した需要を維持し、規模増加</li> </ul>
キャンディ市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場は継続的に前年を上回り、復調傾向</li> </ul>
チョコレート市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チョコレート市場全体で3Qは前同並みの一方、無垢チョコレート市場は苦戦継続</li> </ul>
当社	状況
森永ビスケット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期に生じた需給制約の解除後は好調維持</li> <li>・3Qは「ムーンライト」を中心としたプロモーションと新商品が奏功し、市場を大きく上回る</li> </ul>
ハイチュウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な食感ラインナップを強みに、スティック・パウチ・袋、全ての商品形態で好調維持</li> <li>・3Qは新商品及び基幹品の冬期限定品が好調</li> </ul>
カレ・ド・ショコラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月は前年新商品による高いハードルが影響</li> <li>・価格改定後の競合品との価格差を跳ね返すべく、3Qは上質チョコレートのトップブランドとして価値訴求を強化</li> </ul>
ダース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に品質リニューアルを伴う価格改定を実施</li> <li>・3Qは「ダースの日」プロモーション展開、基幹品は堅調も高価格帯商品が苦戦</li> </ul>

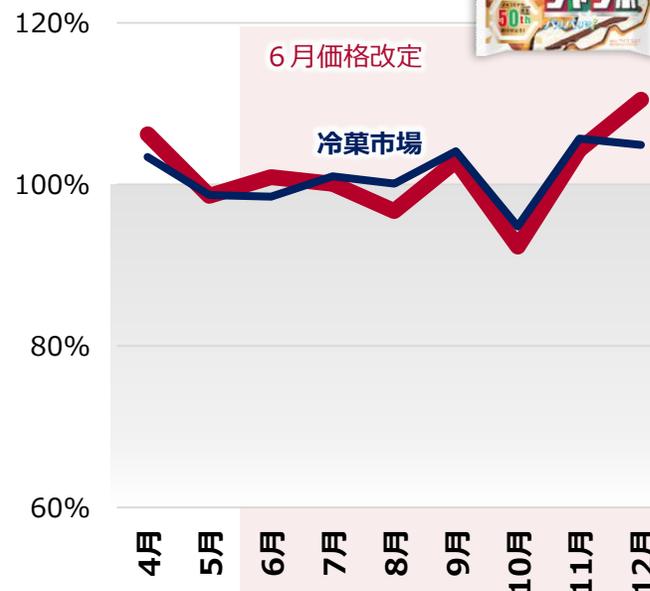
# 2023年3月期 第3四半期：市場状況②【冷菓】

販売金額 前年比

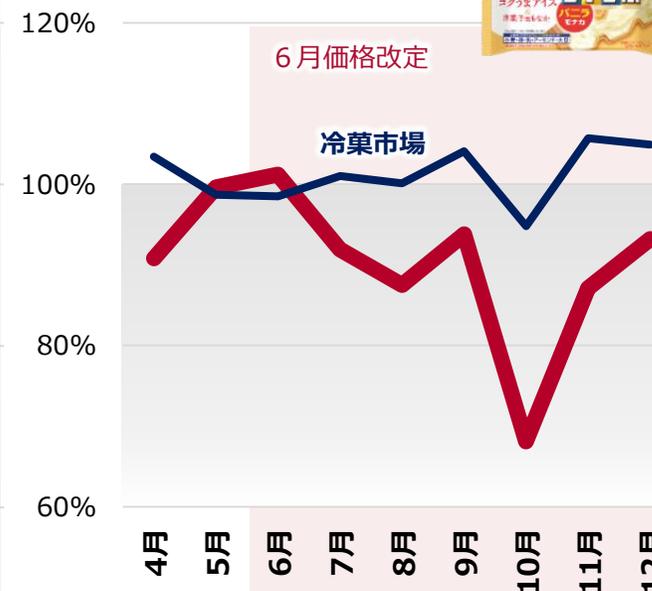
## 冷菓市場



## チョコモナカジャンボ



## バニラモナカジャンボ



市場

- 10月は天候要因を受けたものの、冷菓市場は3Qも堅調な推移

当社

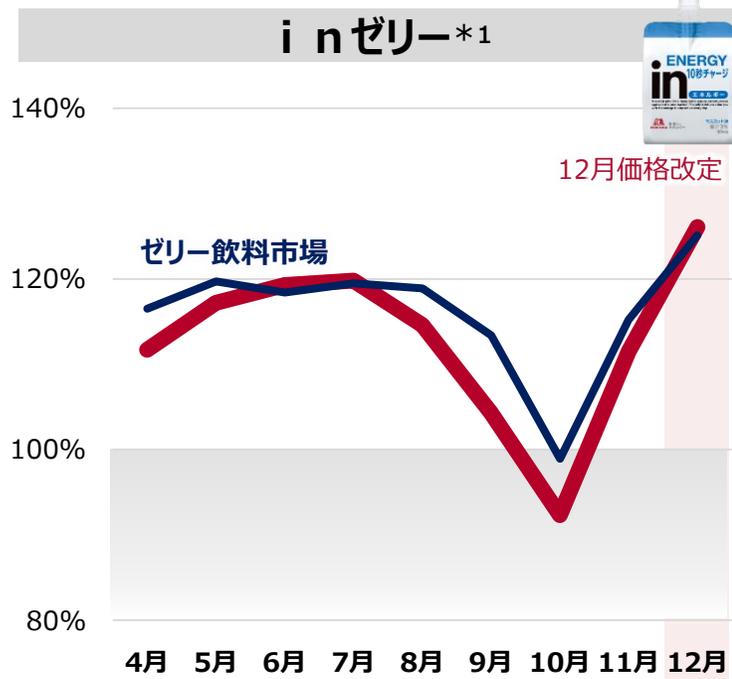
- 当社は盛夏期前に価格改定を実施も、3Q累計で市場を上回る
- 秋に各社価格改定が揃った背景もあり、当社12月は好調

当社

- チョコモナカは50周年のプロモーション展開により**価格改定以降も堅調**に推移、10月は天候要因も受けたが、11月以降は限定商品の好調もあり**3Q累計で前年を上回る**
- バニラモナカは価格改定による影響もあり市場に**ビハインド**、冬期限定品をフックに巻き返しを図る

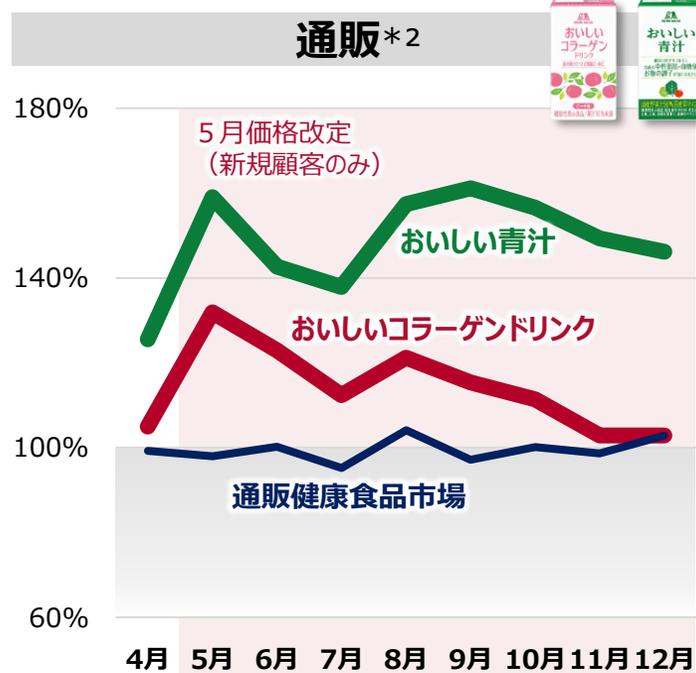
# 2023年3月期 第3四半期：市場状況③【ゼリー飲料・通販・米国】

販売金額 前年比



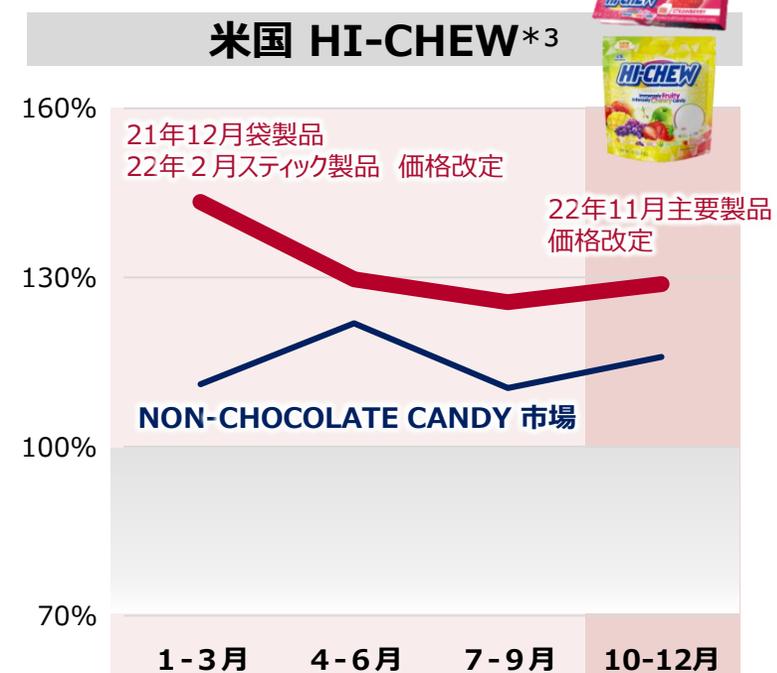
- |    |   |
|----|---|
| 市場 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ゼリー飲料市場は前年を大きく上回り好調継続</li> </ul>   |
| 当社 | <ul style="list-style-type: none"> <li>飲用シーン開拓・ターゲット拡大の取り組みにより、<b>価格改定後の12月も好調継続</b></li> <li>10月は前年コンテンツコラボ品による影響</li> </ul> |

売上金額 前年比



- |    |  |
|----|--|
| 市場 | <ul style="list-style-type: none"> <li>通販健康食品市場は前年並みの推移</li> </ul>   |
| 当社 | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>定期顧客数の増加</b>により、主力2品共に前年を上回り好調</li> <li>価格改定起因の解約抑制と休眠顧客の掘り起こしに注力</li> </ul> |

販売金額 前年比



- |    |   |
|----|---|
| 市場 | <ul style="list-style-type: none"> <li>NON-CHOCOLATE CANDY市場は好調継続</li> </ul>                |
| 当社 | <ul style="list-style-type: none"> <li>今期2度目の価格改定以降もトレンドは変わらず、<b>市場を大きく上回り好調</b></li> </ul> |

## 2023年3月期 第3四半期 実績：事業別サマリー

国内は、i n事業が引き続き増収牽引。菓子食品事業・冷菓事業はコスト高騰影響を大きく受け減益。海外は、米国事業が売上拡大を牽引し、海外全体で増収増益。

(単位：億円)	売上高			営業利益		
	実績	前期比較		実績	前期比較	
菓子食品事業*1	541	+7	101.3%	9	▲22	30.7%
冷菓事業	328	▲6	98.0%	34	▲19	64.6%
i n事業*1	251	+27	112.0%	64	+3	104.4%
通販事業	77	+10	115.3%	4	+0	119.9%
事業子会社	110	+12	112.2%	6	+1	133.5%
その他	8	▲1	98.9%	1	+0	112.5%
国内計	1,317	+49	103.9%	121	▲35	77.4%
米国事業*2	108	+33	144.0%	12	▲1	96.5%
中国・台湾・輸出等	52	+10	122.3%	5	+2	141.7%
海外計	161	+43	136.2%	17	+1	106.2%
連結計	1,478	+92	106.6%	137	▲35	79.6%

# 2023年3月期 業績予想

業績予想修正あり

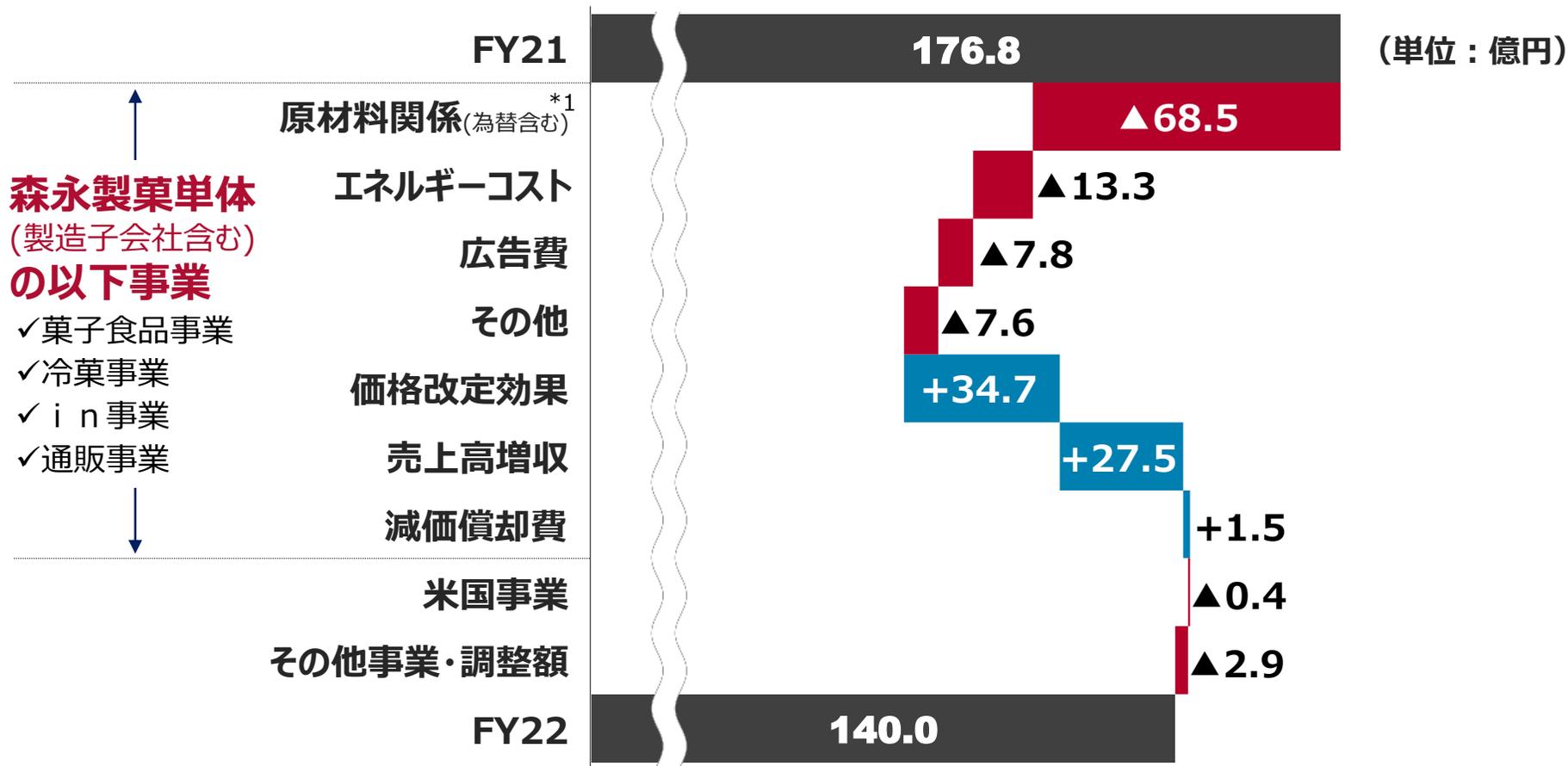
## 2023年3月期 業績予想

売上高は2期連続で過去最高更新の見込み。前回予想より損益を上方修正。

(単位：億円)	通期予想*2	前期比較		前回予想比較	
売上高	1,935	+123	106.8%	▲8	99.6%
売上総利益 〔売上総利益率〕	760 〔39.3%〕	+2 〔△2.5pt〕	100.3%	+1	100.1%
営業利益 〔営業利益率〕	140 〔7.2%〕	▲36 〔△2.6pt〕	79.2%	+5	103.7%
経常利益	146	▲36	80.0%	+6	103.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89	▲188	32.0%	+4	104.7%
EBITDA*1	242	▲35	87.6%	+3	101.4%

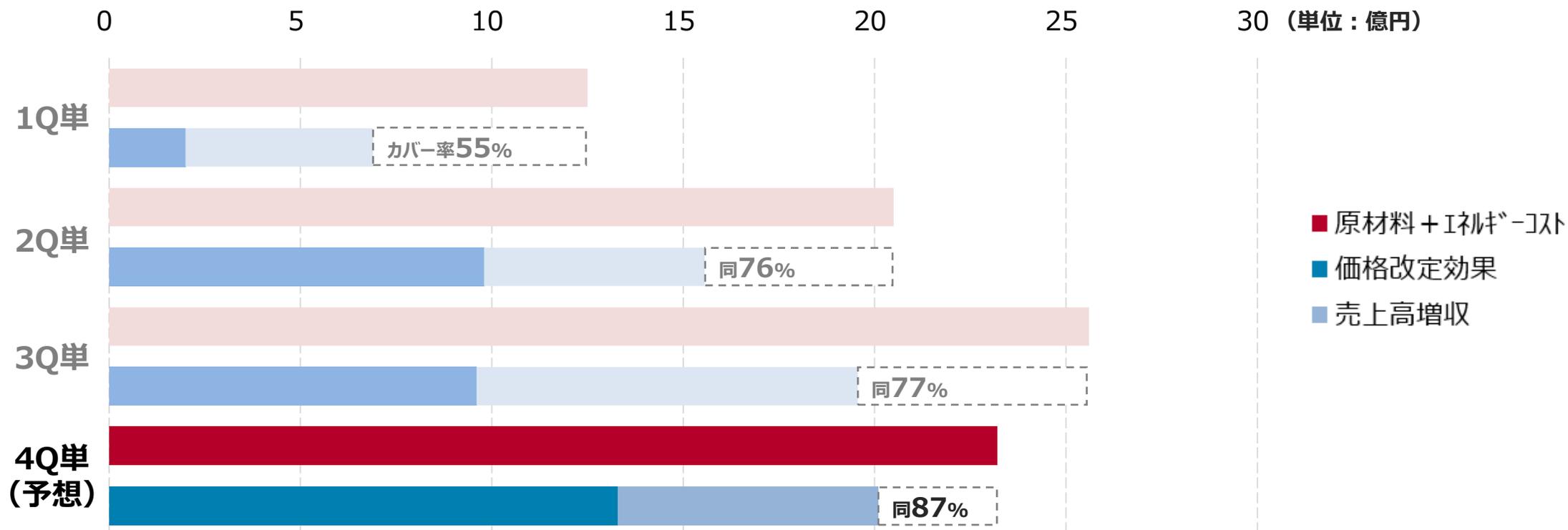
# 2023年3月期 業績予想：営業利益増減要因

昨年11月時点の想定に対し、原材料関係(為替含む)の高騰影響は若干の緩和。価格改定効果の積み増しなどを含め、連結営業利益+5億円の上方修正。



# コスト高騰に対する価格改定と増収効果によるカバー率（4Q予想）

4Qにおいては、更にカバー率が上昇する見込み。



※森永製菓単体（製造子会社含む）の菓子食品事業・冷蔵事業・i n事業・通販事業の合計。影響（効果）金額は前年同期比にて算出。

## 直近の価格改定予定

原材料及びエネルギーコスト高騰に対する打ち返し策として、菓子食品事業及び冷菓事業は今期2度目の価格改定を予定。今後も市場動向を注視し、必要に応じて対応を検討。

事業		価格改定実施日	価格改定率	主な対象品
国内	菓子食品事業	2023年3月1日 出荷分より	<u>3.0%</u> ～ <u>21.2%</u>	キャンディ、ビスケット、チョコレート、 スナック、食品各種（一部製品除く）
	冷菓事業	2023年3月1日 出荷分より	<u>5.3%</u> ～ <u>9.1%</u>	各種（一部製品除く）
	通販事業	2023年2月1日 出荷分より	<u>4.1%</u> ～ <u>6.4%</u>	ドリンク製品各種

# 財務戦略の進捗

# 財務戦略の進捗

アップデートした財務戦略に基づき、財務諸施策をスピーディーに実行。

## 1. 最適資本構成に向けた負債活用

- 2030ビジョンの実現に向けたグリーンプロジェクト等の一環として、**サステナビリティボンドを発行（発行額 90億円）**
- 中長期の資金ニーズを考慮し、**長期借入金を更新（借入額 100億円）**

## 2. 資本効率を意識したバランスシートのスリム化

- オフバランス化による資本効率改善として、**退職給付信託への追加拠出を決議（拠出額 50億円）** \*1

## 3. 株主還元

- 2022年3月～10月にかけて**自己株式を取得（取得総額 100億円）**
- 発行済株式総数に対する割合9.96% \*2の**自己株式を消却（消却数 540万株）**
- 機動的かつ継続的に実行するという言及に則り、本日（2023年2月10日）新たに、**自己株式の追加取得及び消却**を決議 \*3

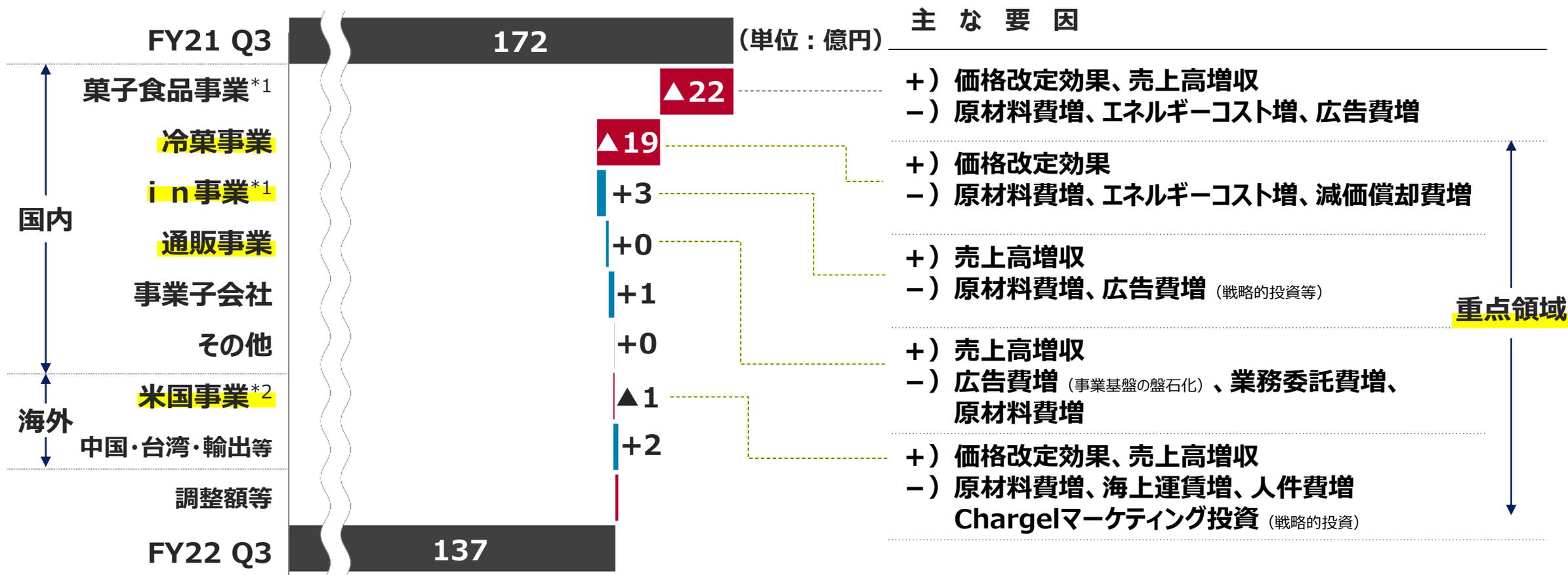
# 参考情報

## 2023年3月期 第3四半期 実績：貸借対照表

(単位：億円)	第3四半期末	前期末比較	主な増減内容
流動資産	1,171	+51	・現金及び預金▲99 ・受取手形及び売掛金+80 ・原材料及び貯蔵品+44
固定資産	1,035	+13	・機械装置及び運搬具▲13
資産合計	2,206	+63	—
流動負債	586	▲115	・1年内返済予定の長期借入金▲100
固定負債	332	+203	・長期借入金+100 ・社債+90
負債合計	919	+88	—
株主資本	1,167	▲43	・利益剰余金▲134 ・自己株式+92*1
その他の包括利益累計額	106	+17	・為替換算調整勘定+19
非支配株主持分	12	+1	—
純資産合計	1,287	▲24	—
負債純資産合計	2,206	+63	—
自己資本比率	57.8%	▲2.9pt	—

# 2023年3月期 第3四半期 実績：事業別の営業利益増減

i n事業・通販事業・米国事業は戦略的に投資を行いつつ、増収によってコスト増を吸収。  
菓子食品事業、冷菓事業は原材料費及びエネルギーコスト高騰が大きく影響。



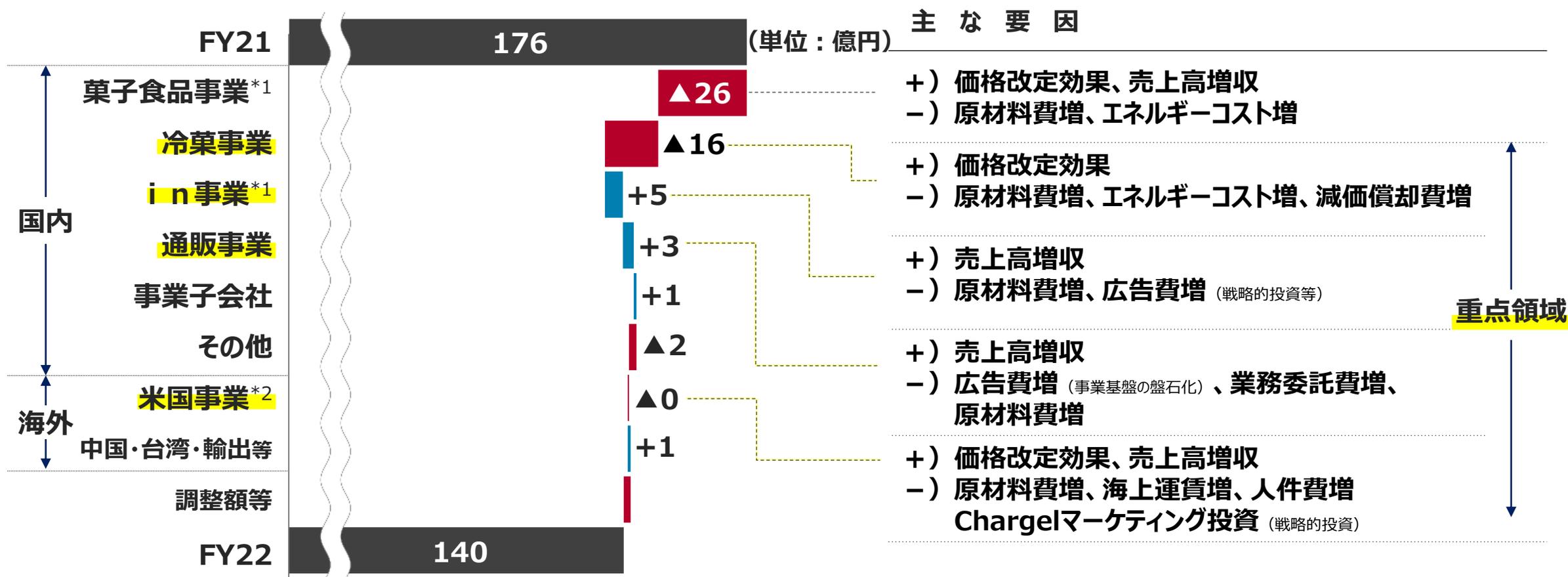
## 2023年3月期 業績予想：事業別サマリー

国内は、i n事業を中心に前期比較増収の一方、コスト高騰影響により同減益の見込み。  
海外は、米国事業が引き続き売上拡大を牽引し、海外全体で同増収増益の見込み。

(単位：億円)	売上高					営業利益				
	通期予想	前期比較		前回予想比較		通期予想	前期比較		前回予想比較	
菓子食品事業*1	736	+12	101.6%	▲6	99.1%	6	▲26	18.8%	▲2	70.6%
冷菓事業	399	▲2	99.3%	▲5	98.7%	32	▲16	67.3%	+0	101.0%
i n事業*1	313	+33	111.6%	+7	102.1%	73	+5	108.4%	+7	110.3%
通販事業	103	+12	113.1%	+1	100.6%	6	+3	193.8%	+1	126.8%
事業子会社	154	+16	111.8%	+3	102.2%	9	+2	116.8%	+1	108.8%
その他	12	▲0	95.4%	▲1	88.8%	▲4	▲2	—	+0	—
国内計	1,718	+69	104.2%	▲3	99.8%	123	▲35	78.2%	+7	105.8%
米国事業*2	146	+41	138.9%	▲7	95.6%	14	▲0	96.6%	▲0	96.6%
中国・台湾・輸出等	70	+13	121.6%	+2	102.4%	4	+1	139.4%	+1	122.1%
海外計	217	+54	132.8%	▲5	97.7%	18	+0	104.5%	+0	101.8%
連結計	1,935	+123	106.8%	▲8	99.6%	140	▲36	79.2%	+5	103.7%

# 2023年3月期 業績予想：事業別の営業利益増減

i n 事業・通販事業はコスト増と戦略的な投資を増収でカバーし、増益見込み。  
菓子食品事業・冷菓事業は、当期は減益見込みながら追加価格改定による収益性改善を進める。



# 国内主カブランド前年同期比

(単位：%)

事業区分	ブランド	第3四半期実績 (前期比)
i n事業	i nゼリー	118
	i nバー	93
通販事業	おいしいコラーゲンドリンク	113
冷菓事業	ジャンボグループ	100
	アイスボックス	111
	板チョコアイス	83
	ザ・クレープ	—

事業区分	ブランド	第3四半期実績 (前期比)
菓子食品事業	森永ビスケット	101
	ハイチュウ	111
	森永ラムネ	109
	カレ・ド・ショコラ	92
	ダース	96
	チョコボール	101
	森永甘酒	91
	森永ココア	99

# 国内市場 販売金額前年同期比

